

# 京都大学生生活協同組合 2005年度監査報告書

京都大学生生活協同組合  
総代会・理事会 御中

2006年5月27日  
監事 上總 庸行  
久本 泰明  
福村 一三  
枝廣 篤  
荒木 大恵

私たちは、公認会計士 森田政夫氏の協力を得て、京都大学生生活協同組合（以下京大生協）の2005年度<sup>1</sup>の財務諸表<sup>2</sup>に対する会計監査、及び業務・活動監査を行い、結果を以下の通り報告いたします。

## 1. 監査概要

日 時：2005年10月20日 及び 2006年4月28日

立会人：平専務理事 佃常務理事 新谷副管理室長 森田公認会計士

## 2. 総括

会計処理は、京大生協定款及び京大生協が採用した会計処理原則、生協会計基準に従って処理されており、財務諸表は財務状況を適正に表示していると認めます。また理事の執行状況は、定款及び昨年度総代会に従っていることを認めます。

## 3. 監査所見

### A) 会計処理に関して

前年度以前から監事会報告事項等で指摘している以下の事項について、当期末も未処理のままでした。次年度での計上を検討することとしたので、併記しておきます。

- ・本年6月に従業員に支給する賞与(一時金)のうち、支払対象期間が期末までに経過した(12月から5月までのうち、2月までの3ヶ月間)もの、すなわち予定支給額の6分の3を引き当て計上。

その他の指摘事項(下記)に関しては改善されました。

- ・仕入未払金マイナス残および計上もれの処理
- ・退職給付会計の導入

### B) 決算に関して

期末の累積損失は3億3199万円となり、前年度末の3億1867万円より悪化しました。ただし上記退職給付会計制度を導入したことによる費用増があるため、それを除けば約769万円の剰余となります。これは経営改善努力の結果として評価できますが、累積損失解消のためにも退職給付会計基準を適用してもなお当期剰余が生じるよう、一層努力してください。

---

<sup>1</sup> 2005年3月1日～2006年2月28日

<sup>2</sup> 貸借対照表・損益計算書・損失処理(案)の総称

### C) その他

学会関係等での未収金が約384万円残っています。回収に努めてください。また今後回収が遅れないよう、請求や督促をこまめに行ってください。

桂地区やカンフォーラなどを中心に、学外者の利用が増えているようです。特に昼食のピーク時間帯における学外者の利用が組合員の利用環境を悪化させているという声も出ていますので、生協加入推進とあわせて、ピークの分散利用を訴えるなどの施策も検討してください。